

## 企画提案書 (本業務の実施方針)

### 01 事業目的の認識

小千谷市では、泳ぐ宝石と称される「錦鯉」の国内外での人気の高まりを活かし、**人口減少や市街地の衰退といった市が抱える課題の解決を図る**とともに、さらなる産業の活性化につなげることを目指しています。

本業務は、錦鯉の文化・歴史の発信と地域活性化につながる拠点施設の整備の方向性を定めるため、その整備内容や整備位置などの判断材料として、既存の錦鯉関連施設の状況、地域の状況、拠点に導入すべき機能や整備時の効果などの各種情報を整理することが目的であると認識しています。

### 02 背景の認識

#### 1) 錦鯉をとりまく状況

- ・ 小千谷市東山地区などからなる二十村郷と呼ばれた地域が発祥とされる錦鯉ですが、**市では 2014 年に市の魚に制定するなど、市民にも地域のシンボルとして広く認知**されています。
- ・ 国内でも広く鑑賞用として親しまれてきましたが、近年になると海外での人気が高まり、令和 4 年度には過去最高の約 64 億円が輸出され、主な輸出先は、アメリカ、中華人民共和国、ドイツ、オランダ、インドネシアとされています。
- ・ 海外の錦鯉人気は、淡水魚としては大きく、美しい色彩を持つ個体としての特徴のほか、東南アジアなどで広い池で飼育できる環境があること、円安で購入しやすくなったこと、SNS などで写真映えすることなどが影響しているようです。
- ・ 錦鯉の生産者は家族経営の小規模事業者が多く、山間に位置する事業者も多いことから、バイヤーは、長岡等に宿泊し、レンタカーを用いて買い付けに回ることが多いようです。

#### 2) 小千谷市の政策動向

- ・ 市では、第五次総合計画後期基本計画において、4 つの重点プロジェクトを掲げています（1 人口減少対策 2 中心市街地と周辺地域の活性化 3 情報通信技術の活用促進 4 人々が支えあう、自然と伝統が調和した持続可能な地域づくり）。
- ・ これらの政策を実現するために**3 つの重点政策プロジェクト・チーム「チーム O・J・Y」を設置**されています（令和 5 年 5 月より活動）。
- ・ そのうち、チーム J は「国魚錦鯉を切り口にした地場産業の振興」をテーマに小千谷産品の輸出拡大や観光振興について取り組まれており、本業務との係りも深い取組みとなります。
- ・ また、チーム O の「雇用確保による人口減少対策」やチーム Y の「地域の魅力再生」も、本業務の調査・検討内容と関係があるものと考えます。

#### 3) 持続可能な地域振興の必要性

- ・ 来訪者の増加は望ましい一方で、近年では SNS の影響により来訪者が急増し、また、数年後には一過性でブームが終わってしまうこともあります。
- ・ 持続可能な地域づくりには、季節に応じた観光客数の急変への対応や中長期的な視点、観光振興・地域振興と地域の保全のバランス維持などへの留意が必要です。

### 03 小千谷のまち活性化シナリオ(案)

#### ■ 錦鯉振興施設整備のまちづくりにおける狙い

##### 地域内で価値の見直し + 活動の活発化 ▶▶▶ 来訪者の増加

##### 【現況】

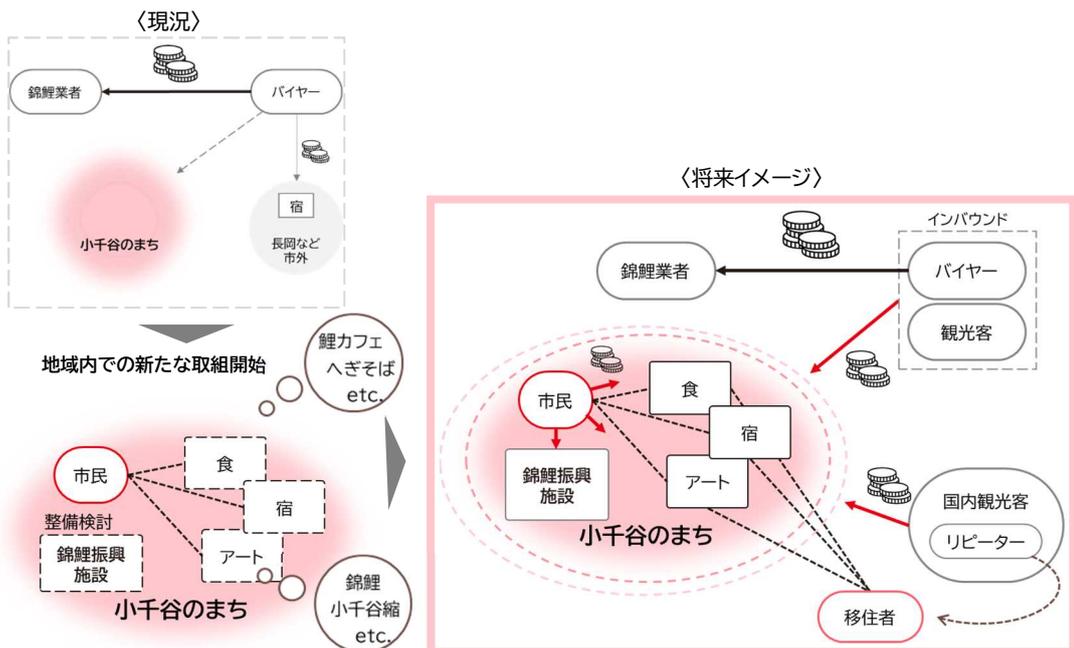
- ・ 錦鯉の価値は「泳ぐ宝石」「平和の象徴」として世界的に評価される一方で、バイヤーは市外のホテルを利用し、地域資源が観光に活用しきれていないため、**錦鯉の輸出高は増加しているものの、その経済効果はまちなかに十分につながっているとは言えない**状況です。
- ・ 市民アンケートでは「錦鯉が自慢できるもの」と認知されていますが、業者のみが関わる現状では、**市民が日常生活において錦鯉の価値を実感することは難しい**と考えられます。
- ・ 錦鯉の里が立地する西小千谷地区では、人口・世帯数の減少、空き家・空き店舗の増加など**中心市街地の衰退が進行**しています。
- ・ 周辺にはサンプラザなど文化交流資源、茶郷川や船岡山など自然資源、慈眼寺など歴史資源といった**地域資源が集約していますが、利用が乏しい**状況です。

##### 【これから】

- ・ 地域活性化につながる拠点施設の在り方を検討する上では、施設整備にとどまらず、食やアートなどの体験、居心地の良い滞留空間、宿泊施設など、**中心市街地に楽しみながら滞在できる機能を少しずつ増やす**ことが必要です。
- ・ また、地域活性化を持続的に進めるためには、国内外のリピーターや移住者の増加とともに、市民による中心市街地での消費を増やすことが求められます。
- ・ そのためには、**市民生活の延長線上でまちの魅力を引き出す**ことが重要です。錦鯉や小千谷縮などの地域資源の文化・歴史的価値や経済的価値を市民と再共有し、市民や移住者による**新たな創造的な取組や人的ネットワークの形成につなげる**ことで、人々の暮らしぶりを少しずつ変えることにつながると考えます。

#### ■ 本業務での取組

- ・ 最初からインバウンドに頼ることなく、現在取り組まれている行政と市民の共創による市街地活性化の取組みを重視し、地力をつけていくことを目指します。
- ・ そのためには、まずは錦鯉振興施設に関する調査、計画、設計各段階で、**市民が参加できる機会を戦略的に組み込むプロセスデザイン**が重要と考えます。
- ・ 今回の基礎調査では、市民の気軽な参加の機会として**市民アンケート等を実施**し、結果を**今後のアクションプランとして整理**することを提案します。→p.14-15



## 04 業務実施方針

錦鯉の国内外の人気の高まりを活かし、養鯉産業をはじめとした地場産業の振興とまちの活性化を図り、「**市民と行政の協働により、生涯、楽しく暮らし続けられることのできる魅力あるまち**」の実現のために、本調査においては、次の実施方針のもと調査・検討を進めます。

- ① 小千谷のまちの活性化シナリオを描き、必要な調査要素を見逃さず、効率的に調査・検討を進めます。
- ② 既存の取組みの情報を収集し、政策や市民・事業者の活動との不整合を起こさないよう調査・検討を進めます。
- ③ 多様なステークホルダーのニーズ・状況を把握し、より多くの関わりにつなげられるよう調査・検討に活かします。

### ①小千谷のまちの活性化シナリオを描く

インバウンドに頼った地域活性化ではなく、まずは**市民の力で楽しく暮らしやすいまちをつくりだすことから始まる「まちの活性化シナリオ」**を描きます。

シナリオをあらかじめ描くことで、今後の検討や判断に必要な情報要素を洗い出すことが可能となり、調査の手戻りや抜け漏れを防ぐことにつながります。

シナリオの設定においては、市の担当の皆さんと協議を重ね共有するとともに、関係者意見に基づき時点修正することも視野に入れます。

(現時点における弊社のシナリオ(仮説)を前ページに示しました。)

### ②既存の取組みとの整合を図る

チーム「O・J・Y」や、小千谷市錦鯉漁業協同組合等の産業団体、東大通り商店街振興会などからの情報収集に努めます。また、小千谷リビングラボ「at!おぢや」での議論の経過なども把握し、これらの政策や事業計画との整合を図ります。

他の事業の妨げにならないようにするとともに、**種々の取組みのベクトルをあわせていくことは、事業の効果・成果を高め、達成に向けた効率を高めることにつながると期待できます。**

### ③多様なステークホルダーのニーズを把握する

活性化シナリオを描くことで本事業に係る**主なステークホルダーを明らかにし、基礎検討に必要なステークホルダーのニーズ・意見の収集**を提案します。

市が掲げる市民との協働を実現するためには、**多くの関係者が自分ゴトとして関心を高めていくことが必要**ですが、そのためには、主なステークホルダーにとって自分の意見が検討過程に入っていることも大切なプロセスと考えます。

また、導入機能の整理においても、ステークホルダーのニーズはその検討の基礎となることから、幅広く把握しておくことが有効と考えます。

## 05 業務フロー

以下のような流れで本件業務を進めます。

調査・分析

独自提案

### (1) 調査の概要、前提条件の整理 → p.6

調査目的、歴史的経緯、市場動向、競合自治体や競合・類似施設の動向、上位・関連計画の位置づけ、錦鯉の里等関連施設の概要・利用状況、生産者の現状、錦鯉関連施策の実施状況及び課題等

アンケート → p.14

+

まちなかヒアリング  
→ p.15

### (2) 市街地を中心とした全市的な現状把握・分析 → p.7

中心市街地の概況、公共施設の整理と利用状況把握、市全域の公共施設の配置バランスや行政サービス機能の整理、公共施設配置バランスや行政サービス機能の過不足等課題の整理・分析、社会動向・経済情勢の整理等

施設内容・効果の検討

### (3) コンセプトの設定 → p.7

### (4) 錦鯉振興施設に導入する機能の検討 → p.8

### (6) 連携方策及び想定費用の算出 → p.10

### (5) 錦鯉振興施設の波及効果の検討 → p.9

### (7) 既存の錦鯉の里の再整備に係る検証と考察 → p.11

整備地・方法等の検討

### (8) 整備候補地の検討 → p.11

### (9) 候補地の事業用地確認

立地条件、形状・規模、利用状況、取得方法、取得価格 → p.11

### (10) 整備・管理運営手法の検討 → p.12

整備手法の事例整理、導入可能性の整理

### (11) 整備スケジュールの検討 → p.12

将来に向けた検討

### (13) 将来ビジョンの策定 → p.13

+

### アクションプランの立案 → p.15

反映

## 06 業務工程

本件業務実施にあたっての業務スケジュールは、以下のポイントを重視しつつ、効率的に検討を進めます。

- ・ **業務目的（背景となる政策課題）や、ヒアリング・アンケート調査の対象**について抜け漏れが無いよう**初期段階で確認**します。
- ・ 打合せはオンライン方式も用いることで毎月実施を想定し、計画に貴市の意向を適切に反映します。

業務内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 調査概要・前提条件の整理	■								
(2) 市街地中心とした全市的な現状把握分析	■								
(3) コンセプトの設定				■					
(4) 振興施設に導入する機能の検討				■					
(5) 波及効果の検討					■			■	
(6) 連携方策と想定費用の算出					■			■	
(7) 既存の錦鯉の里の再整備検証と考察					■	■			
(8) 整備候補地の検討						■			
(9) 候補地の事業用地確認							■		
(10) 整備・管理運営手法の検討						■			
(11) 整備スケジュールの検討							■		
(13) 将来ビジョンの策定							■		
(14) 報告書の作成									■
打合せ・協議	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

### 打合せ計画

#### 第1回

- ・ 業務の進め方
- ・ 情報収集先確認

#### 第2回

- ・ ヒアリング、アンケート方法
- ・ 前提条件整理

#### 第3回

- ・ ヒアリング、アンケート結果
- ・ 課題整理

#### 第4回

- ・ コンセプト案
- ・ 必要な機能の整理

#### 第5回

- ・ コンセプト確定
- ・ 施設導入機能確定
- ・ 連携方策案

#### 第6回

- ・ 想定費用
- ・ 集約・改修の比較
- ・ 整備候補地抽出

#### 第7回

- ・ 整備候補地絞込み
- ・ 整備・管理運営手法検討

#### 第8回

- ・ 事業用地確認
- ・ 整備スケジュール
- ・ 将来ビジョン、アクションプラン案

#### 第9回

- ・ 報告書

## 07 調査方法内容の提案

### 1) 調査概要・前提条件の整理

前提条件の整理は、**関係者へのヒアリング及び国・自治体の関連計画、既存調査資料の整理**により行います。なお、ヒアリング調査は、メールや Web 会議にて代用することがあります。

調査項目	方法等
小千谷の錦鯉の歴史 的経緯	<b>ヒアリング</b> 平沢勝佳氏（錦鯉の里マネージャー） 瀬沼功氏（新潟県錦鯉協議会・小千谷市錦鯉漁業組合事務局長）
国・県の政策動向/ マクロ的市場動向	<b>資料調査・ヒアリング</b> ：水産庁、新潟県
競合自治体/ 競合・類似施設動向	<p><b>■競合自治体</b> 資料調査：新潟県以外の主な生産地（兵庫、静岡、埼玉、福岡、広島等）の統計、関連計画 ヒアリング：瀬沼務氏（全日本錦鯉振興会事務局長）、吉田俊一氏（全日本錦鯉振興会副理事長、吉田観賞魚販売株式会社）</p> <p><b>■競合施設</b>：Web 調査・一部現地視察</p> <p>錦鯉水槽展示のある施設：CoCoLo 長岡、アオーレ長岡、長岡市緑花センター「花テラス」、やまこし復興交流館おらたる等、庭園内に観賞用池があり歴史資料館も併設する施設：山口育英奨学会等）、見附市（みつけイングリッシュガーデン）等</p> <p><b>■類似施設</b>：国内の水族館運営事業者（株式会社アクアメント等）</p>
小千谷市上位・ 関連計画	市担当に確認の上、過去の調査資料等も含めて収集・整理
錦鯉の里等関連施設 概要・利用状況・錦鯉 生産者の現状	<b>■ヒアリング</b> 瀬沼務氏（全日本錦鯉振興会） 瀬沼功氏（新潟県錦鯉協議会・小千谷市錦鯉漁業組合 事務局長 （やまこし錦鯉生産組合・長岡市錦鯉養殖組合）
市民・錦鯉の里来訪者・ バイヤー意見	Web を用いたアンケート調査（独自提案/詳細は p.14 にて提案）
まちに関心を持つ 若者等	テレワークステーション小千谷利用者へのグループヒアリング （独自提案/詳細は p.15 にて提案）

## 07 調査方法内容の提案

### 2) 市街地中心とした全市的な現状把握分析

にぎわいづくりの主演となる**ユーザー（市民）像を把握**するとともに、立地・活用候補地・施設の基礎情報となる施設・土地関連の情報を収集、整理します。

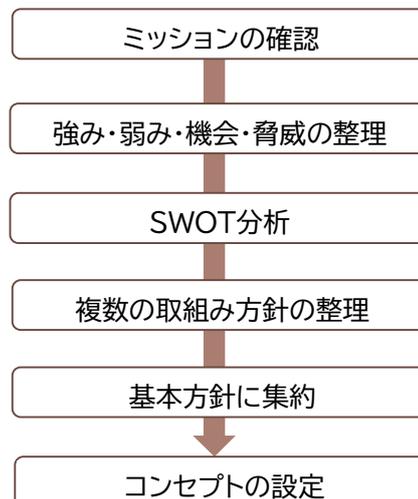
同時に、**観光客の受け入れ機能の現状と課題を把握**するため、観光動態や、サービス機能の状況について調査整理します。

	調査項目	調査手法	分析の観点
中心市街地の概況	人口動態	統計情報の収集整理 分布はGIS等を用いてマップ上にも整理	市内ユーザーの状況把握
	開発動向	市提供情報をマップ上に整理	振興施設立地候補地
	空き家の状況	〃	
公共施設の状況	位置と機能、利用状況	〃	合築や機能統合の可能性、施設活用の可能性
	市内公共施設・行政サービス機能の配置状況、課題	〃	
その他	観光動態の把握	統計資料整理、観光協会へのヒアリング	観光客の交通経路や滞在の有無等
	飲食店、宿泊施設、レンタカー、公共交通の状況	公開情報や当該施設へのヒアリング等	観光受け入れ機能の把握

### 3) コンセプトの設定

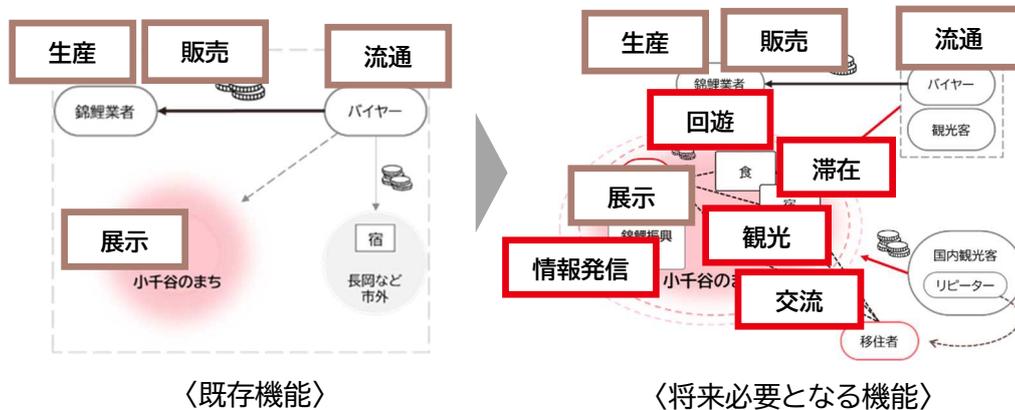
錦鯉振興施設の整備コンセプトは、以下の手順で検討します。

- ・ 錦鯉振興施設は何のために整備をするのか**施設の役割（ミッション）**を確認します。
- ・ ミッション実現に向けて本市の錦鯉の**強み・弱み・機会・脅威**を整理します。
- ・ **SWOT分析**を行い、取組み方針を整理します（この時点では複数の方針が導かれます）。
- ・ **複数の方針を集約する基本方針**を設定し、コンセプトを定めます。



## 07 調査方法内容の提案

### 4) 錦鯉振興施設に導入する機能の検討



錦鯉振興施設に導入する機能の検討に際しては、当該施設のみならず、**まちの活性化につながるために必要な機能を検討**し、その後、振興施設に導入が必須な機能とそうでない機能を整理することを提案します。

上図は、現時点の活性化シナリオ（仮説）にあてはめて、既存の機能と、将来必要となる機能について示したものです。

業務の実施に際しては、関係者へのヒアリング、市民や来訪者へのアンケート、他事例等を参考として、**既存の機能と、今後付加していくべき機能を整理**します。

また、既存の機能がどこにあり、どの程度の効果を生じているか、活性化のために必要な機能と期待される効果について検討します。

\* 滞在機能：宿泊、食事、休憩などを総じて滞在機能としました。

観光機能：体験、見学、物産（土産）などを総じて観光機能としました。



弊社業務経験)「にぎわい交流施設基本構想・基本計画策定」(さいたま市)においては、まちの活性化と伝統産業や歴史文化の継承に必要な機能を洗い出し、拠点施設に具備すべき機能とまち中に備える機能の整理を行い、拠点施設の役割や規模を検討しました。

## 07 調査方法内容の提案

### 5) 波及効果の検討

#### ①指標の整理

地域活性化効果の指標については、**経済効果、集客・にぎわい効果、評判（評価）、定住効果**などが挙げられます。本事業で期待する効果を事象として整理すると下表のとおり整理できます。

なお、業務においては、市と協議し、期待したい効果や収集可能な指標（データ）について調整を行います。

錦鯉振興施設の整備により期待される事象に係るこれらのデータについて、前提条件整理において資料の収集整理を行います。

活性化効果	本事業で期待する事象	指標
経済効果	錦鯉の売上増加	販売額
	市民の中心市街地での消費増加	飲食、買い物、各種サービス利用
	観光客やバイヤーによる市内消費増加	飲食、土産、宿泊、各種サービス利用
集客・にぎわい効果	観光客数の増加	観光入込数
	中心市街地の人流増加（市民・観光客）	歩行者数
	市街地の空き家や空き店舗の減少	空き家数
評判（評価）	市の知名度向上	知名度ランキング等
	中心市街地に関する市民の印象アップ	世論調査等
定住効果	市民の転入・転出数	統計資料

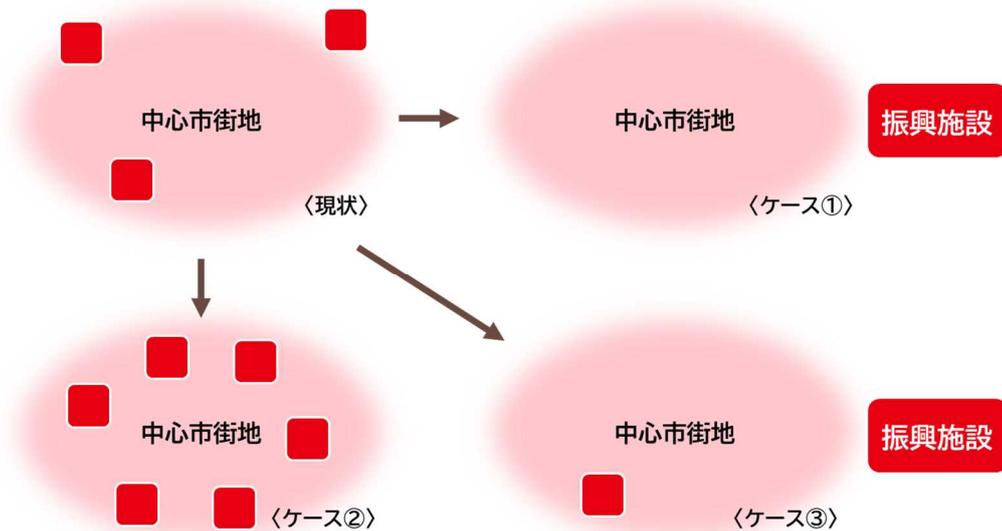
#### ②効果の検討

業務当初に検討した仮説シナリオをもとに、**振興施設の整備がどのように地域の活性化に結び付く可能性があるのか**を、定性的に示します。

事例調査や国内の観光消費統計資料等（例：訪日外国人消費動向調査）から人数や消費額を設定できるものについては想定値を設定し、定量的に示します。

## 07 調査方法内容の提案

### 6) 連携方策と想定費用の算出



#### (1) 各ケースにおける機能配置と規模の検討

4) において整理した活性化に必要な機能のうち、**どの機能を新たな振興施設に集約するかを整理**し、各機能を備える施設の規模や、整備条件（例：出荷流通のためにはトラックの出入りが可能な用地・道路が必要になる）について検討します。

#### (2) 連携方策の検討

ケース①・③においては、郊外部において、まとまった規模の用地や建物が整備可能な土地や既存建物（公共施設等）の活用の可能性を検討します。

ケース②においては、中心市街地内において、機能ごとに想定される施設規模や条件に適合する土地や建物（空き家・空きビル）の活用可能性を検討します。

#### (3) 想定費用の算出

それぞれのケースにおける建物整備・改修、用地費などの概算を算出します。

#### (4) 効果の検討

整備ケースについては、物理的な整備可能性のみならず、5) に照合して、波及効果の発揮可能性についても整理を行い、評価材料とすることを提案します。

また、産業・観光拠点を通過型で整備した自治体や回遊型で整備した自治体における整備効果についても、情報収集を行い参考情報として整理します。

## 07 調査方法内容の提案

### 7) 既存の錦鯉の里の再整備に係る検証と考察

既存の錦鯉の里の改修までとした場合と、全てを集約した新施設を整備した場合について、それぞれ整備案を描き、**整備費用の概算、期待される効果、懸念事項等について整理**します。

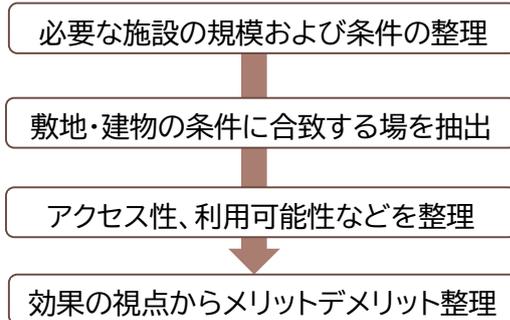
比較項目		既存改修案	集約新規案
コスト（整備費等）			
効果	経済効果		
	集客・にぎわい効果		
	評判（評価）		
	定住効果		
懸念事項			



### 8) 整備候補地の検討

これまでの検討を踏まえ、以下のフローで整備候補地の絞り込みを実施します。

一次選定においては**主に広さなど物理的に導入が可能かどうかを検討**し、そのうえで、各種の条件の評価と、期待される整備効果と照合した際の**メリットデメリットを検討**し、一覧表にまとめます。



**弊社業務経験**「亀有地域観光拠点調査」（葛飾区）では、導入機能を定めたのち、施設規模を数段階にランク分けしたうえで、立地可能な用地や建物について抽出しました。この際、駅からの距離や接道条件、周辺環境、回遊性などいくつかの条件を定めてスクリーニングを行いながら候補地をリストアップしました。

### 9) 候補地の事業用地確認

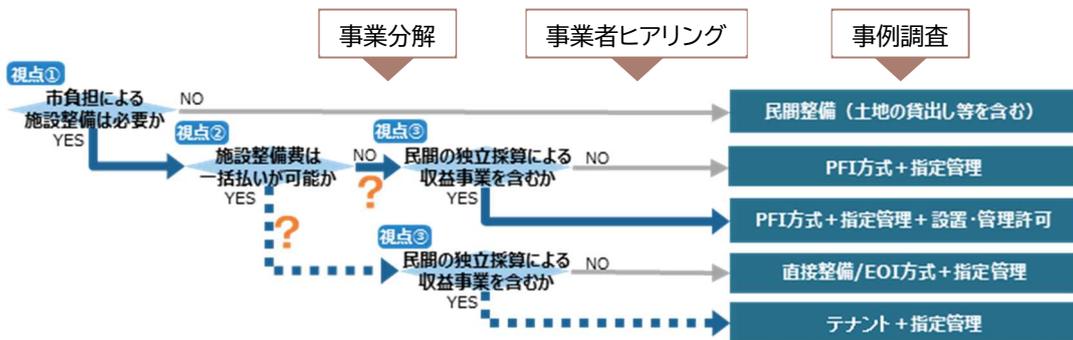
候補地として選定した用地について、現地確認（目視）、行政資料、公開情報により諸条件を確認し、整理します。

項目	調査方法
立地条件	航空写真、現地調査による目視
形状・規模	目視および公図や道路台帳確認
利用状況	目視、登記簿謄本の確認
取得方法	上記で確認した権利関係に基づき検討 公共用地・施設の場合には、庁内で相談 個人の場合にはコンタクトは取らないことを原則とします
取得価格	路線価を基本とします 民間の場合コンタクトは取らないことを原則とします

## 07 調査方法内容の提案

### 10) 整備・管理運営手法の検討

- ・ 整備・管理運営手法の検討は、選択の視点を定めた検討フローを下図のように作成し**判断の視点を明確化**して進めます。
- ・ 事業方式については、**類似施設の事例調査**を参考に設定します（伝統的工芸品産業振興協会リストなどを利用し施設を抽出します）。
- ・ 検討した機能（施設）ごとに分解し、**民が担う可能性のある部分を整理**します。
- ・ ヒアリング対象事業者の選定に際しては、地元地銀の意見等を参考とします。
- ・ 概算事業費、運営費の試算は類似施設事例を参考に算出します。



〈検討フローの例〉

### 11) 整備スケジュールの検討

- ・ 整備スケジュールの検討に際しては、**実現までに必要となる主な調査・検討作業**を洗い出します。
- ・ それぞれの調査・検討作業に要する期間については、弊社の経験および小千谷市における実績等を踏まえて設定し、さらに手続き等の期間や、予算確保等の時期も勘案してスケジュールを整理します。

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基本計画	■			
地質調査		■		
測量調査		■		
DBアドバイザー業務				
業務発注		■		
DBアドバイザー		■	■	
		公券資料作成 ○R6.11 公募 ○R7.2 提案受付 ○R7.4 落札者決定 ○R7.6 契約議決		
DB事業			■	■
			設計：6～9ヶ月 建設：9ヶ月	
指定管理者選定				■
要項作成				○要項等作成 ○R8.9 選定 ～準備
供用				■

〈施設整備事業スケジュール検討例〉

## 07 調査方法内容の提案

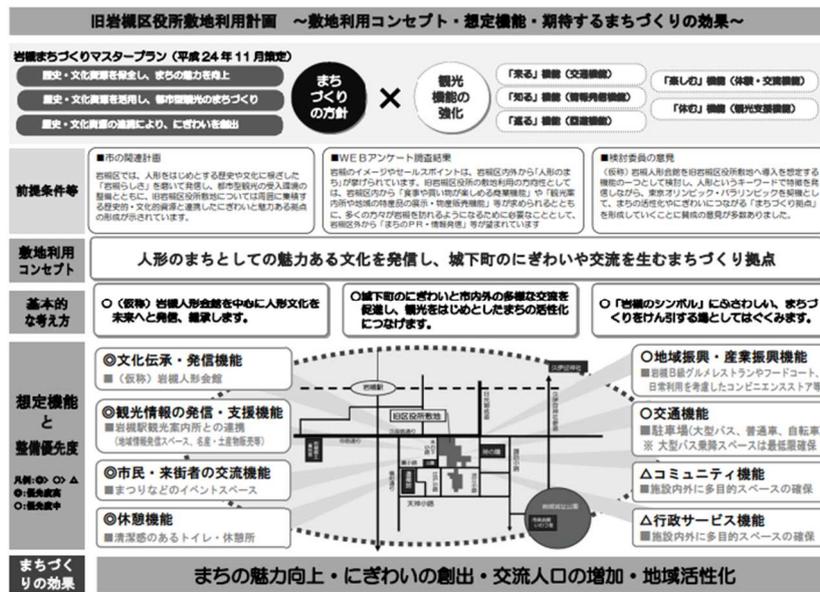
### 12) 打合せ

- ・ 打合せは、**毎月1度の定例打合せ**をあらかじめ定め（都度、詳細な調整可）、対面もしくはWeb会議により実施します。
- ・ 定期打合せの他に調整が必要になった際には、適宜、上記と同様の方法で開催します。
- ・ 打合せに際しては原則としてレジメを用意し、主要な打合せ事項をあらかじめ確認して臨みます。
- ・ また、進捗管理表（週割の作業スケジュール）を作成し、調査の進捗についても定期的に報告するようにします。

### 13) 将来ビジョンの策定

将来ビジョンを次のような構成でとりまとめることを想定しています。

1. 事業の背景・現状の課題等
2. 錦鯉振興施設整備の前提条件
3. 錦鯉振興施設の整備コンセプト
4. 整備の基本方針
5. 市域への配置方針
6. 導入機能
7. 整備効果
8. 事業スケジュール



## 08 独自提案① アンケート

錦鯉振興施設の導入機能の検討および来年度以降のアクションプランの検討に向け、**市民・来訪者アンケート、錦鯉バイヤーアンケートの実施**を提案します。

### ■ 市民・来訪者アンケート

#### ● 目的

- ・ 錦鯉や地域活性化への意識や関心を把握 →施設検討、アクションプランに反映
- ・ 錦鯉・小千谷縮など地域資源の価値の発信
- ・ 市民に参加の機会が開かれていることのアピール

#### ● 調査概要

対象	小千谷市民＋錦鯉の里来訪者
方法	■ Web アンケート 市ホームページ掲載、錦鯉の里チラシ設置・ホームページ掲載、市内学校でのチラシ配布など
内容（仮）	■ <b>基本情報</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 錦鯉の価値の認識（歴史・文化、経済、世界の注目など）</li><li>・ 中心市街地への交通手段</li></ul> ■ <b>錦鯉振興施設に関する内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 錦鯉の里の来訪の有無・頻度</li><li>・ 利用する・しない理由</li><li>・ リピート利用に向けて求める機能</li><li>・ 国内外の来訪者を増やすために必要だと思う機能</li></ul> ■ <b>地域活性化に関する内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中心市街地の来訪状況、目的</li><li>・ 錦鯉や小千谷縮など地域資源を使った取組アイデア</li><li>・ 自分や仲間とできそうなこと、やってみたいこと など</li></ul>

### ■ 錦鯉バイヤーアンケート

- **目的**：市内施設の利用状況、新たな利用ニーズの把握 →施設検討に反映

#### ● 調査概要

対象	国内外の錦鯉バイヤー
方法	■ Web アンケート（日本語・英語） 小千谷市錦鯉漁業協同組合などに協力いただき、チラシ配布（海外バイヤー等にはHP から直接コンタクト）
内容（仮）	■ <b>基本情報</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 錦鯉の魅力（歴史・文化、経済、世界の注目など）</li><li>・ 小千谷市への交通手段、宿泊地</li></ul> ■ <b>錦鯉振興施設に関する内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 錦鯉の里の来訪有無・頻度</li><li>・ 利用する・しない理由</li><li>・ リピート利用に向けて求める機能</li></ul> ■ <b>地域活性化に関する内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中心市街地の来訪状況</li><li>・ 観光・滞在利用に求める施設や機能 など</li></ul>

## 08 独自提案② まちなかヒアリング

小千谷市では、図書館等複合施設の整備など、中心市街地の活性化を推進しているところ。小千谷リビングラボでは、市民も参加し行政と対話をしながら複合施設の活用に向けて取り組んでいます。

また、市では、複合拠点整備地前において「テレワークステーションおぢや」を開設し、多様な市民や来訪者が集まる場を提供されており、ここでは、起業に向けたセミナーの開催や、ビジネススキルを磨くための教室なども開催されています。

**まちに関心を持つ若者**が集まる拠点として、この利用者を対象に「**錦鯉振興施設を契機としたまちの活性化**」について**自由な意見を聞く**、グループヒアリングの場を設けることを提案します。

\* 施設の利用および、利用者への呼びかけについては、市及び施設管理者と相談の上、現場の協力が得られることが実施の前提となります。

## 08 独自提案③ アクションプランの立案

アンケートやヒアリング等の調査結果で得られた、錦鯉振興施設や小千谷のまちでの取組に関する意見やアイデアを基に、**来年度以降取り組むべきことをアクションプランとして整理**します。

例えば、来年度以降は、将来の取組を深堀する市民ワークショップ等、市民が参加する機会を設け、さらに、そこでの企画を基に、試行的に、空き家活用の取組を始めなどの展開が想定されます。

このように、市民に参加の機会が開かれ、まちを魅力的な空間とするための試行を通じ、まちが少しずつ良くなるという体験ができれば**市民のまちへの期待感が高まる**ことにつながると考えます。

まちへの期待感が高まることで、**持続的な地域活性化の動きが加速**することが期待されます。

〈アクションプランイメージ〉

